

魚津の教育

魚津市教育センターだより177号

令和7年7月発行

魚津市教育センター

〒937-0053 魚津市林林町1-21

TEL (0765) 23-9161

精力善用

西部中学校 校長 鍋島 正茂



これは、柔道の創始者であり、教育者としても名高い嘉納治五郎先生の教えです。「精力」とは心身の活動力のことであり、「善用」とは、その読み通り、善のために用いることと説きました。「善」とは社会生活の存続・発展を助けるものであり、その妨げになるものを「悪」と説きました。また、社会生活の存続・発展は、相助相譲（互いに助け、互いに譲る）と自他共栄によってもたらされるため、相助相譲と自他共栄もまた「善」であると説きました。これらのことから、「精力善用」とは、「私たち一人一人が、誰もが幸せに暮らせる社会をつくるために、自分の強み（知力、体力、特技等）を互いに活かし合うこと」と私は解釈しています。

言うまでもなく、私たち人類が目指す究極の願いは「世界の平和と安定」であり、その前提となるのがウェルビーイング（多面的で持続的な幸せの状態）であると考えています。そして、子供、教職員、保護者や地域住民に共通の願いは、「明日もまた来なくなる学校」「安心感や充実感が得られる学校」「安全で活気ある地域社会」の存在です。

しかしながら、地球上の至る所で戦争や紛争が続き、また、地殻変動や異常気象等、まさに「一寸先は闇」と感じざるを得ない状況に我々は直面しています。我が国においては、昨今、目先の利益を手に入れるため、いわゆる「闇バイト」に安易に応募し、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担してしまうことが大きな社会問題になっています。逮捕されたり警察に保護を求めたりした者の中には10代から20代の若年層が一定数を占めているという状況や、SNSトラブルが増加の一途であり、学校におけるいじめの認知件数や重大事態の発生件数が過去最多という状況もまた、悲しい現実であります。

知的能力や身体能力、文明の利器であるインターネットやSNS等は、正しい使い方をすれば幸福を生み出しますが、間違った使い方をすれば自他共に不幸に陥ります。他者を言葉巧みに騙し欺いたり、暴力でねじ伏せ威圧したりすることや、SNS上の誹謗中傷や悪質な侮辱等は、社会生活の存続・発展を妨げるものであり、力の悪用から派生する悪事や理不尽が横行する世の中では、誰もが幸せに暮らせるはずがありません。

このような社会の状況を踏まえ、本校では「精力善用」を今年度の合言葉にしました。西中生には、学校生活や地域等での活動を通して、自分の強み（知力、体力、特技等）にいつそう磨きをかけてほしいと思います。そして、磨き高めた自分の強みを互いに活かし合いながら、今年度の生徒会スローガン「安心」を実感できる西部中のづくり手として、また、安全で活気ある地域社会の若き担い手として、自ら考え実践してくれることを強く期待しています。

私は校長として、生徒はもとより、本校に関わる全ての方々へのウェルビーイングが向上するよう、総勢46名の教職員の強みや持ち味を最大限に活かしながら、「精力善用の教えに基づく特色ある教育活動」「魅力ある地域学校協働活動」等に教職員・保護者・地域住民等が一体となって参画できるような仕掛けづくりに、全精力を傾注したいと思います。

今年度のセンター運営方針

教育センターは年2回「センター運営委員会」を開催し、委員の皆様よりご意見をいただき運営しております。2月開催の第2回運営委員会では、昨年度の事業の反省と次年度の事業計画について協議し、運営に関する助言をいただきました。令和7年度の運営方針等は以下の通りです。

(1) 基本方針

魚津市内の小・中学校における地域性豊かな教育活動の推進と教職員の指導力向上を図るため、学校や関係機関との連携を密にし、時代の変化に対応した教職員研修の充実や教育活動に係る研究調査、教育情報の収集・提供に努める。

(2) 今年度の事業について

- ・教育課程研修として、学力向上研修会、ふるさとキャリア教育研修会を実施する。豊かな心の育成を基盤とした授業づくり、教師の指導力向上、教育課程の改善を目指す。
- ・特別支援教育コーディネーター、SC、SSWを活用し児童生徒や保護者を支える教育相談活動の充実と推進を目指す。
- ・魚津市特別支援教育研究会では、各校特別支援教育体制の充実を目指し、実践事例による支援の検討、相談機関との連携あり方等について研修を行う。県リーダー研修会での学びを報告する場を設定し、各校での情報共有、実践に活かす。
- ・情報教育研究会では、Chromebook端末の導入に向けた研修を行う。
- ・若手教員研修会に、各校で推薦された中堅教員数名がアドバイザーとして参加し、それぞれのキャリアに応じた資質向上を目指す研修会とする。

★魚津市教育センター HPもご覧ください。 <https://www.uozu-c.tym.ed.jp/>

魚津っ子学び向上委員会の取組について

「魚津っ子の学び向上委員会」は、魚津市教育振興基本計画に基づき、魚津市の学校教育の充実を図るために、児童生徒の「確かな学力」と「豊かな心」を育む教育の推進を目指す取組の企画・運営及び研究推進の中心にあたる組織です。県が策定する「とやま型学力向上プログラム」を踏まえ、各部会が連携を図りながら研究を進めます。取組の柱は以下の通りです。

【共通課題】

魚津市の児童生徒の学力向上を目指して
～一人一人のよさや可能性を生かし、多様な他者と協働し、よりよい学びを生み出す授業づくり～

学力向上部会

目標：児童生徒が主体的・協働的に学び、
確かな学力の定着を図る。

○教頭会の取組

- ・授業改善を目指した学校間(異校種、同校種間)の授業互見
- ・課題解明研修における小中学校教員交流の活性化(個人研修課題に基づいたグループ編成、相談し合える関係性の構築)

○教務主任会の取組

- ・「学び合い」が充実する授業改善の推進
- ・ふるさとキャリア教育の推進
- ・学事に関する資料の見直し、有効活用

心の教育推進部会

目標：自分のよさや可能性に気づき、
他人を思いやる心を育む。

○教頭会の取組

- ・「魚津ふるさとキャリア教育」ランドデザイン・スタンダードプランに基づく実践、取組状況の把握
- ・ふるさとカルタの作成
- ・不登校の未然防止・相談体制の構築

○生徒指導協議会の取組

- ・いじめ・不登校の未然防止、早期発見、組織的対応(WEBQU 調査の活用、ネットトラブル予防に関する取組)
- ・子ども会議に向けた各校での取組推進

ようこそ魚津市へ

～今年度魚津市内の学校に赴任された皆さん～

西部中学校 茶谷 真奈

活気ある西中生に囲まれ、母校で教員としての一步を踏み出せることをうれしく思います。毎日生徒と関わる中で、教員としての責任の重さを実感しています。そして、生徒一人一人と真摯に向き合うことで、生徒の成長を支援する存在でありたいと強く思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに、自己研鑽を重ねていきたいです。

西部中学校 牧谷 舞弓

西部中学校に赴任し三か月が経ちました。分からないことばかりですが、生徒たちの素直な心や学びに向かう姿勢に、日々励まされています。一人一人の個性を尊重し、よい面をできるだけ多く見付けたいと思います。そして、子供たちが自分の考えをもち、自分らしく生きられるよう、共に考え、笑い合い成長していける教員でありたいと思います。

西部中学校 宮田 想大

早いもので西部中学校に赴任して三か月が経ちました。まだまだ分からないことだらけですが、先輩の先生方や生徒たちに支えられながら、楽しく充実した日々を過ごしています。私は2学年の国語を担当しています。ティーム・ティーチングにより、多くの授業を見る機会に恵まれ、先輩の先生方の授業を見るたびに、様々なことを学ばせて頂いています。今後も研究と修養に励みながら、日々を過ごしていきたいと思います。

東部中学校 雨宮 正洋

本校の生徒は米騒動の発祥地よろしく、元気で素直な生徒が多く、毎日刺激をもらっています。今年度は通級指導を担当していることから1対1での指導が多く、これまで気付けなかった自身の指導の甘さを痛感している毎日です。通級指導では、その子の可能性を一つでも多く見付けたり、活動の中で前向きな言葉をかけたりして、生徒一人一人が自分に自信をもてたり、自分のことをもともと好きになれたりする、そのような時間にしていきます。

東部中学校 田邊 芽久

4月に県外から異動してきて、数か月が経ちました。縁もゆかりもなかった富山県での生活にはまだ慣れないことも多いですが、子供たちが活発に行事に取り組む姿や、一生懸命授業に参加する姿から毎日元気をもらっています。今後も生徒が多くの学びを得ることができるよう日々支援していきます。そのためにも、先生方からご指導をいただきながら、自己研鑽を怠らず学び続ける教師でありたいです。

東部中学校 三輪 陽大

新規採用教員として東部中学校に赴任し数か月が経ちました。とても明るく、素直で活気にあふれている子供たちと毎日楽しく過ごしています。初めてのことで、不安なときもありますが、周りの先生方から様々なことを学ばせていただき充実しています。これからも一人一人の子供たちの心に寄り添うことを忘れず、共に学び続ける教員であり続けたいと思います。

星の杜小学校 杉原 侑太

縁があり、私の母校（旧住吉小）に赴任することになりました。地域の方々から「おかえり」と声をかけていただき、その言葉が胸にしみました。全力で目の前の子供たちにこの身をもって関わることを決意しました。地域の方々と手を取り合って魚津市を盛り上げていける可能性にわくわくが止まりません。毎日の生活を大切にしながら、日々精進してまいります。

星の杜小学校 松本明日香

星の杜小学校に赴任して数か月が経ちました。初めてのことばかりであったという間に時間が過ぎていきますが、周りの先生方や子供たちに支えられながら充実した毎日を送っています。日々、成長をしていく子供たちの姿や笑顔にいつも励まされています。これからも子供たちと真摯に向き合い、共に成長をしていくことができる教員であり続けたいと思います。

星の杜小学校 結城 春香

聞き慣れた方言が飛び交う富山で教育に携われていることを嬉しく思います。子供たちと過ごす日々は充実しており、楽しい毎日を過ごしています。4月に出会ったばかりですが、様々な面で日々成長している姿を見て、自分自身も多くのことを学び成長しなければならないと改めて実感しています。子供一人一人のよさを伸ばせるよう、これからも精進していきます。

星の杜小学校 幅口 友貴

勤務し始めて数か月、最近給食時間に市内小中学校を訪問する機会が増えてきました。毎回緊張しますが、子供たちの明るさに救われ、元気をもらっています。勤務する中で、農家や業者、調理員の方等、たくさんの人との関わりの上に給食が成り立っていることを日々感じます。その繋がりを大切にし、栄養教諭として各方面との架け橋となり、子供たちに食の大切さを伝えていきたいです。

よつば小学校 田平 佳祐

朝の会において、「給食委員会の放送を初めてする。みんなに優しく聞いてほしい」と、放送原稿を机に置きながら話したAさんがいた。「姉の思いを受け継ぎたい」と意気込みを書き、自分なりに精一杯取り組もうとしたAさんだからこそ、不安な気持ちを表したのだと感じた。子供理解を中心に据えた教師の在り方を考え、今後も取り組んでいきたい。

よつば小学校 尾島 那希

小学生の頃からの夢だった教師となり、3か月が経ちました。日々の指導は想像以上に難しく、戸惑いや悩みもありますが、子供の頑張っている姿やちょっとした変化に励まされ、楽しく充実した毎日です。また、周囲の先生方の温かいサポートに支えられながら、一人一人の子供に応じた関わり方を学んでいます。

よつば小学校 田中 朱里

よつば小学校に赴任し、個別の教育的ニーズに応じた支援が丁寧に行われていることに感銘を受けました。一人ひとりの特性や思いに寄り添う支援が日々実践されており、多くのことを学ばせていただいています。子どもたちが「今日も学校に行ってきた」と思えるように支援していきたいです。今後も、成長し続ける教師でありたいと思います。

よつば小学校 谷口 空

着任して約3か月、改めて教員になれて本当に良かったと実感する毎日です。子供たちの笑顔を見ながら日々学び、自分も成長しています。子供たちから「学校楽しい！」という声が聞けることを目指しています。そのために、これまでの学びや経験を生かし、子供たちと共に未知のことに果敢にチャレンジする“冒険”をしていきたいです。

清流小学校 石倉 萌

今年度初めて魚津市に着任しました。こちらに赴任して感じたことは、地元である魚津の伝統や歴史を大切にしている教育活動を行っているということです。勤務校でも蝶六踊りや地元での米作り等、ふるさとを大切にしている教育活動が行われています。私は生まれも育ちも魚津市です。子供たちとふるさとの魅力を再発見しながら学んでいきたいと思っています。

清流小学校 井田 来海

初めてのことばかりで試行錯誤している毎日ですが、子供たちが自分たちで当番活動をよりよくしようと声をかけ合う姿等、成長を感じる瞬間に何度も出会うことができ、喜びを感じています。私自身が経験してきた楽しかった学校生活を思い出しながら、これからも一日一日を子供たちと大切に過ごしていきたいと思っています。

清流小学校 高澤 彩奈

2年生の担任となり、自分の意見を安心して伝えられる学級を目指し、日頃から友達同士での話し合いを大切にしています。様々な授業で友達と共に取り組む活動を工夫することで、最近は「ペアで話したい」と子供たちから積極的に伝えてくれるようになりました。友達と学ぶことが楽しいと感じてくれたことが嬉しく、教職のやりがいを感じています。

清流小学校 林 翔永

5月に行われた「よっしゃこい！！CHOUROKU 祭り」にはたくさんの子供たちが参加していて、地元の祭りを盛り上げようという気持ちに心を打たれました。自分たちの地域が大好きで、がんばる子供たちのことがもっと好きになりました。子供たちの興味・関心、やる気を大切に、一人一人が個性を生かし、全員が輝ける学級をつくっていききたいと思っています。

道下小学校 飯澤 孔成

道下小学校に赴任して、3か月が経ちました。6年生の担任として、先生方や子供たちに支えられながら、毎日楽しく過ごしています。学校のリーダーとして日々努力する6年生の姿に、自分も子供たちの期待に応えたい、もっと努力したい、と背中を押されています。これからも、子供たち一人一人のよさを認め、共に成長し、寄り添うことができる教員でありたいと思っています。

道下小学校 出村 雅

授業づくりや学級経営等で思い悩むことも多い日々ですが、子供たちの明るく元気な姿に、私も元気をもらっています。また、4月の様子と比べると子供たちが少しずつ成長している姿を実感し、教員としての仕事に「やりがい」を感じています。教員1年目、「できない」ことだらけの私ですが、焦らず、でも着実に、「スモールステップ」で成長していきたいと思っています。

道下小学校 中村 ラオ

小学生の時からずっと学校の先生になることが私の夢でした。長年の夢を叶え、今は道下小学校で2年生の担任をしています。元気いっぱいの子供たちと一緒に楽しみながら学習したり、校庭を駆け回ったりと先生になったことを実感する毎日です。また「トマトこんなに大きくなったよ」等と嬉しそうに話す子供たちの笑顔にいつも元気をもらっています。子供たちの毎日が宝物となるように、自分らしさを大切に寄り添う教師でありたいです。

経田小学校 伊藤 愛理

経田小学校に着任し、2年生を担当しています。教員となってこの約4か月間、日々の授業準備や学校行事等、初めて経験することに悩む毎日です。しかし元気いっぱいの子供たちと共に成長できることがとても嬉しいです。これからは周りの先生方から多くのことを学びながら、子供たちと一緒に、安心できる学級づくりを目指したいです。

魚津市学力向上研修会

6月18日(水)、熊本大学大学院教育学研究科 前田 康裕 特任教授より「授業観の転換と教師の学び方改革」と題し、オンラインにて講話をいただきました。市内全小・中学校からオンライン参加がありました。

「対話」「学習形態」「振り返りによるメタ認知」「概念化」という言葉が本講演でのキーワードとしてたくさん出てきました。まずは、教師自身が「主体的・対話的で深い学び」を積み重ねていくことの大切さを実感させられた講演でした。「課題解明研修」がスタートする今年度に、魚津市の教員として目指す姿を全職員で共有するよい機会となりました。



(アンケートより)

- ・非常に有意義な時間となりました。子供たちの主体的な学びの場を少しでも多く作っていきけるよう、授業の在り方を考えていきたいと思えます。
- ・対話の重要性を感じました。対話を通して自らの認知の状態を知ることによって次の課題も見え、継続した学びや気づきにつながると再認識しました。また、フィードバックをきちんとしていきたいと感じました。「探究的な授業とは」「対話的な学習とは」と考え悩んでいたのが、考える際のヒントをたくさんいただきました。

課題解明研修

今年度より魚津市の研修システムが新しくなり、西部中学校・星の杜小学校・よつば小学校の3校は、「課題解明研修」に取り組んでいます。「『明日も来なくなる』学校づくり」を研修テーマにアプローチの視点(個人研修テーマ)を各自で考え、類似した課題をもつメンバーでグループを編成し、グループミーティングや活動参観を通して互いに高め合える研修を目指しています。

6月11日(水)に第1回グループミーティングを実施し、グループのメンバーと顔を合わせて個人研修テーマや悩みを共有しました。ミーティング後すぐにクラウド上でやり取りを開始するグループや、メンバーの授業の様子を参観するグループ等、互いに高め合おうという雰囲気が感じられます。上記の学力向上研修会の講演にもあったように、教師自身の「主体的・対話的で深い学び」に繋がる研修となるよう努めていきます。



1 学期に行われた研究会・研修会

特別支援教育研究会

第1回…参加者 22 名、第2回…参加者 20 名（どちらもオンラインと同時開催）

第1回の研究会では、市特別支援教育コーディネーターの印田先生から、「就学指導に向けた各学校での準備、手順」をテーマに、コーディネーターは管理職と共に校内の教育支援体制を運営すること、就学指導については子供自身と保護者が納得できるよう2年位の長い期間で計画することの大切さ等について話がありました。また、市幼保小架け橋期コーディネーターの松原先生も参加し、「幼児教育から小学校教育への接続」について話をされました。今年度から、架け橋期のカリキュラム作成に向けて、各校・各園での接続体制づくりや保育体験等を進めていく予定です。遊びを通した学びの芽生えから自覚的な学びへとスムーズにつなぐため、まずは幼児教育と小学校教育の相互の教育内容を理解し合うことの大切さについて説明がありました。

第2回の研究会では、東部教育事務所 特別支援教育指導員 中村 明子先生をお招きし、「子供の困難さに気付くための教師の視点について～SOSを受信する教師側の姿勢～」という演題で、講話をいただきました。今回は、教室内で静かに困っている子に焦点を絞り、具体的な子供の姿やつまずきの要因に応じた支援方法をたくさん教えていただきました。まずは私たち教員が子供の特性に気付くことが支援の第一歩ですので、普段の授業や生活の中で一人一人の様子をしっかりと見ていきたいものです。



生徒指導研修会

参加者 18 名

6月12日(木)魚津警察署刑事生活安全課 課長 戸田 秀和 様と、富山県警察少年サポートセンター東部分室 少年警察補導員 新鞍 寛子様を講師に迎え、「スマホ時代の子供たちに大人ができること」と題し、講話をいただきました。

様々な情報があふれる社会に生きる子供たちに対し、自分の言動がどのような影響を及ぼすかを想像することや自他を尊重することの大切さについて、具体的な事例を挙げながら、伝え続けていくことの重要性を学びました。また、SNSは正しく使うことでとても便利なものであることを踏まえ、正しい使い方について子供たちと一緒に考えることや、保護者と教員が、共に大人として子供を守る意識を高めていくことの大切さを改めて感じました。

研修会後の生徒指導協議会においても、教員がSNSに関する新たな情報を得ていくことや、警察と連携を図りながら各校の実態に応じた指導を行うことを確認し合いました。

(アンケートより)

- ・「指先一本で加害者にも被害者にもなる」という言葉がとても心に残りました。まずは他律から粘り強く指導を続け、成人までに自律に向かえるように教育の立場でできることをしていきたいです。
- ・少し前は中学校入学を機にスマホを持つ生徒が多い印象だったが、最近は小学生時から所持し、スマホの操作にも慣れた状態で中学校に入学してくる生徒も少なくないと思う。ネットの中からは外から見えにくいことやつながりが広範囲にわたることなどから、対応が非常に難しい。ネットに依存したり、不適切な使い方をしたりする生徒の中には、学校生活自体に困難さを抱えている生徒も多いと思う。大きな意味で学校がどのような対策・支援を行っていけばよいのかを考えさせられる機会になった。



魚津市教育センターからのお知らせ

研修事業の予定

7月29日(火) 学級経営に関する講演会 講師 木村 泰子先生	11月10日(月) 課題解明研修 (西部中・星の杜小・よつば小)
8月4日(月) 若手教員研修会③ 指導講話 齋藤 理先生	11月14日(金) 魚津市子ども会議
8月7日(木) 生徒指導に関する講演会 講師 杉山 雅宏先生	11月26日(水) 生徒指導協議会④
8月8日(金) 幼保小接続研修 講師 新夕 佳子先生	12月9日(火) 情報教育研究会②
8月20日(水) ふるさとキャリア教育研修会 講師 長田 徹先生	12月25日(木) 情報教育研修会
9月17日(水) 生徒指導協議会③	1月27日(火) 情報教育研究会③
10月22日(水) 特別支援教育研究会③	2月3日(火) 特別支援教育研究会④
	2月4日(水) 生徒指導協議会⑤
	2月5日(木) 魚津っ子の学び向上委員会
	2月12日(木) 魚津市教育センター運営委員会 (予定)

視聴覚機器のご案内

魚津市教育センターの視聴覚ライブラリーでは視聴覚機器及び教材の貸出を行っております。また、情報教育研究会で購入した機器も保管してありますので、ぜひ教育活動にご活用ください。

【視聴覚ライブラリー】

・広角WEBカメラ ・HDMIケーブル(2m・3m・5m・7m・10m・50m)等

※「魚津市教育センター」のホームページ (<https://www.uozu-c.tym.ed.jp/>) に一覧があります。

【情報教育研究会購入備品】

・ドローン(5台) ・ビデオキャプチャー
・MESH ・ワイヤレスWebカメラ
・ワイヤレスHDMIエクステンダー(送受信機) 等



Column

6月に魚津市教員パワーアップ事業として秋田県大館市に行って参りました。研修内容については次号で報告させていただきますが、その土地その土地に根付いた文化や風習があることに改めて気付かされた5日間でありました。例えば、給食はマイ箸持参。子供たちに「魚津は給食センターの箸で食べているよ」と話すと、驚かれました。自分が当たり前だと思っていたことは他の人にとって当たり前ではない。当たり前だと思い込んでいたのではないかとほっとさせられました。

授業についても同じことが言えるのではないのでしょうか。自分が積み重ねてきた実践はもちろん大切なのですが、他の方の授業を見たり、話を聞いたりすることで、自分になかった視点に気付くことができる。この三か月、様々な方の授業を参観したり、話を伺ったりしましたが、自分は井の中の蛙だったと自省する日々の連続でした。どれだけの経験を積もうとも、絶えず研究と修養に励んでいかなければいけないと自覚しました。

この1年間様々な研修が予定されています。先生方が新たな学びを得られる研修になるように運営していきたいと思っております。

魚津市教育センター 指導主事 中村 奈緒

